

式 辞

梅の花が咲き、桜のつぼみがふくらみ始めました。別れと出会いの春がやってきました。先程、卒園児の皆さん一人一人に修了証書を渡しました。第五十七回卒園児の皆さん。ご卒園おめでとうございます。

卒園児の保護者の皆様、本日はお子様のご卒園、誠におめでとうございます。多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。深い愛情の中で育てられたお子様が扶桑幼稚園での幼児教育を終え節目を迎えられたことに、お喜びもひとしおのことと存じます。これまでのご苦勞に深甚なる敬意を表しますとともに心よりお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

また、ご来賓として、扶桑町立高雄小学校長 水野明美様、学校法人むつみ学園理事を代表されまして、前園長紀藤統一様にご臨席いただきました。祝意を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

改めて、五十八名の卒園児の皆さん、ご卒園おめでとうございます。

皆さんにとって、扶桑幼稚園での三年間はどのような幼稚園生活でしたか。

私は、皆さんとは二年間いっしょに扶桑幼稚園で過ごしましたが、少しこの一年の思い出を振り返ります。

夏のデイキャンプ。自然豊かな恵那で思いっきり楽しみました。みなさんは、マス掴みにも挑戦しましたね。消防観閲式や幼年消防クラブでの鼓隊演奏は、とても立派で聴く人を感動させました。全学年で行った運動会は、他の学年のよきお手本となりました。そして、扶桑文化会館での生活発表会。どの演技演奏も素晴らしかったです。特に聴く人見る人を感動させた和太鼓演奏は圧巻でした。皆さんの成長を強く感じました。その他にも本当に多くの思い出があります。

いよいよ四月からは、それぞれ小学校へ入学し、新しいスタートを切ります。巣立ち行く皆さんは、さらに多くの事を学ぶステージに立ち、歩んで行きます。これからも、扶桑幼稚園で学んだ根っこを大切にして、苦しいことにも負けず、たくましく幸せに生き抜いてください。

結びになりますが、私から皆さんにはなむけの言葉として、これから大切にしてほしいことを十個まとめました。聞いてください。

- 一 さわやかなあいさつで一日をはじめよう。「おはよう」
 - 二 約束は守ろう。もし、守れなかった時はきちんと謝ろう。「ごめんなさい」
 - 三 うまくいったことは、おかげさま。人に感謝しよう。「ありがとう」
 - 四 食べることを大切にしよう。「いただきます」「ごちそうさま」
 - 五 自分の気持ちに正直でいよう。
 - 六 がんばりすぎたり、疲れたりした時は、ちょっと一息ついて休憩しよう。
 - 七 年上の人や親を尊敬しよう。
 - 八 お年寄りや障がいのある方に親切にしよう。
 - 九 毎日の生活の中に、楽しみ・喜びを見つけよう。
 - 十 自分の人生や命を一番大切にしよう。
- 友だち、先生の笑顔とともに、次の新しい世界に向かって羽ばたいていく、 第五十七回卒園児の皆さんのこれからは 幸多からんことを心から祈り、式辞といたします。

2025年3月17日

学校法人むつみ学園扶桑幼稚園園長

山田 恵 士